

保健領域の指導計画

保健 3・4 年

単元(章)名	1 単元(章) けんこうな生活	教科書のページ	p.6~25
配当時数	4 時間	学習指導要領の内容	第3学年および第4学年 G 保健 (1)

単元(章)の目標		健康な生活に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、健康の状態には主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること、また、健康を保持増進するには、運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活など1日の生活の仕方が深く関わっていること、体を清潔に保つことや生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。
単元(章)の観点別評価規準	知識・技能	健康の状態には主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること、また、健康を保持増進するには、運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活など1日の生活の仕方が深く関わっていること、体を清潔に保つことや生活環境を整えることが必要であることを理解している。
	思考・判断・表現	健康な生活に関わることから課題を見つけ、健康な生活を目指す視点から、解決の方法を考え、それを伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	学習活動に粘り強く取り組む中で、健康な生活の大切さに気づき、健康な生活についての学習に進んで取り組もうとしている。

【各時の目標および学習活動など】

●観点別評価の方法

[知識・技能] …ノートなどの記録や小テスト、まとめの単元(章)テストなどを基にして、単元(章)を総合して評価する。

[思考・判断・表現] …各時の中心活動(ステップ2~3)で重点的に評価する。

[主体的に学習に取り組む態度] …学習活動への取り組みで特記すべきことなどを適宜記録し、資料を蓄積して、単元(章)を総合して評価する。

*各時の評価規準は、HPにアップされている「単元(章)の目標と評価規準(3・4年)」p.1~2を参照。

目標	時数	学習活動	評価の観点		
			知	思	態
(1)けんこうというたからもの (教科書 p.7~12) 他教科との関連:道徳					
・心や体の調子が良いなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることを理解できるようにする。	1	ステップ1 問いについて考える活動を通して、健康の大切さに気づき、課題を見つける。			○
		ステップ2-1 自分の生活を振り返りながら、健康だと感じるのはどんなときか話し合う。		○	○
		ステップ2-2 教科書のイラストなどを参考に、健康にはどんなことが関係しているのかを話し合う。		○	○
		ステップ3 学習したことを基に、将来の夢や、夢をかなえるためには健康であることが必要な理由について考える。		○	○
		ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。	○		○
(2)けんこうによい1日の生活 (教科書 p.13~16) 他教科との関連:家庭、道徳					
			知	思	態

<p>・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。</p>	1	<p>ステップ1 問いについて考える活動を通して、1日の生活の仕方と健康との関わりに気づき、課題を見つける。</p>			○
		<p>ステップ2 たくみさんとあやかさんの生活を比較し、健康に良い生活の仕方を考える。</p>		○	○
		<p>ステップ3 学習したことを基に、たくみさんの発言から、たくみさんの今後の生活の変化を予想し、話し合う。</p>		○	○
		<p>ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	○		○
<p>(3)体のせいけつとけんこう (教科書 p.17～20) 他教科との関連:家庭、道徳</p>			知	思	態
<p>・毎日を健康に過ごすには、体の清潔を保つことなどが必要であることを理解できるようにする。</p>	1	<p>ステップ1 清潔に関する自分の日頃の行動を振り返る活動を通して、清潔と健康について課題を見つける。</p>			○
		<p>ステップ2-1 実験の結果などから、手を清潔に保つことと健康について考える。</p>		○	○
		<p>ステップ2-2 実験の結果などから、下着や靴下を清潔に保つことと健康について考え、説明する。</p>		○	○
		<p>ステップ3 学習したことを基に、こうきさんが手を洗わないといけないと思った理由を考える。</p>		○	○
		<p>ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	○		○
<p>(4)けんこうによいかんきょう (教科書 p.21～24) 他教科との関連:理科、家庭、道徳</p>			知	思	態
<p>・毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることを理解できるようにする。</p>	1	<p>ステップ1 問いについて考える活動を通して、生活環境と健康との関わりに気づき、課題を見つける。</p>			○
		<p>ステップ2-1 実験の結果などから、部屋の換気と健康について考える。</p>		○	○
		<p>ステップ2-2 教科書の写真などから、部屋の明るさの調節と健康について考える。</p>		○	○
		<p>ステップ3 学習したことを基に、例を参考にし、1、2の問題点と改善点を考え、話し合う。</p>		○	○
		<p>ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。</p>	○		○

単元(章)名	2 単元(章) 体の成長とわたし	教科書のページ	p.26～42
配当時数	4 時間	学習指導要領の内容	第3学年および第4学年 G 保健 (2)

単元(章)の目標		体の発育・発達に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。
単元(章)の観点別評価規準	知識・技能	体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解している。
	思考・判断・表現	体の発育・発達に関わることから課題を見つけ、体のよりよい発育・発達を目指す視点から、適切な方法を考え、それを伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	学習活動に粘り強く取り組む中で、体が発育・発達することやその大切さに気づき、年齢による発育・発達の仕方や、発育・発達に良い生活の仕方についての学習活動に進んで取り組もうとしている。

【各時の目標および学習活動など】

●観点別評価の方法

【知識・技能】…ノートなどの記録や小テスト、まとめの単元(章)テストなどを基にして、単元(章)を総合して評価する。

【思考・判断・表現】…各時の中心活動(ステップ2～3)で重点的に評価する。

【主体的に学習に取り組む態度】…学習活動への取り組みで特記すべきことなどを適宜記録し、資料を蓄積して、単元(章)を総合して評価する。

*各時の評価規準は、HPにアップされている「単元(章)の目標と評価規準(3・4年)」p.3～4を参照。

目標	時数	学習活動	評価の観点		
			知	思	態
(1)育ちゆくわたしたちの体 (教科書 p.27～32) 他教科との関連:算数、理科、道徳					
・体は、年齢に伴って変化すること、また、体の発育・発達には、個人差があることを理解できるようにする。	1	ステップ1 赤ちゃんの手形や靴の写真と、今の自分の手や靴の大きさを比べ、体の発育・発達に気づく。			○
		ステップ2-1 入学してから4年生までの自分の身長伸びを確認する。		○	○
		ステップ2-2 教科書の6人の身長伸び方を比較し、共通点や個人差について考える。		○	○
		ステップ3 学習したことを基に、改めて自分の成長を振り返り、自分にかかる言葉を考える。		○	○
		ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。	○		○
(2)思春期にあらわれる変化 (教科書 p.33～38) 他教科との関連:理科、道徳					
・体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること、また、異性などほかの人への関心	2	ステップ1 問いについて考える活動を通して、思春期の体の変化に気づく。			○
		ステップ2-1 教科書の写真などから、1年生、6年生、大人の男女の体つきを比較し、違いを考える。また、教科書の資料などから、思春期に体に現れるそのほかの変化について調べる。		○	○

が芽生えることを理解できるようにする。		ステップ2-2 教科書の資料から、思春期に起こる体の働きの変化について調べる。		○	○
		ステップ2-3 教科書のグラフから初経や精通が起こる時期を調べる。		○	○
		ステップ2-4 教科書のイラストを参考に、思春期に起こる心の変化について考える。		○	○
		ステップ3 学習したことを基に、悩んでいる友達へのアドバイスを考える。		○	○
		ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。	○		○
(3)よりよく成長するための生活（教科書 p.39～42） 他教科との関連:理科、家庭、道徳			知	思	態
・体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。	1	ステップ1 問いについて考える活動を通して、生活の仕方と体の成長との関わりに気づき、課題を見つける。			○
		ステップ2 教科書の資料などから、体がよりよく成長するための運動、食事、休養・睡眠について考える。		○	○
		ステップ3 学習したことを基に、よりよく成長するための取り組みについて考える。		○	○
		ステップ4 学習をまとめて、毎日の生活や、これからの学習に生かせることを考える。	○		○